

令和5年度

専門学校 浜松工科自動車大学校

学校評価書（学校関係者評価）



専門学校 浜松工科自動車大学校 校長 岡部 剛

浜松工科自動車大学校評価委員会 委員長 小野田 康弘

1 教育理念・目的・育成人材像

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念・目的・育成人材像は定められているか。	学生便覧に教育理念を記載し、入学直後のガイダンスで学生に配付した上で説明をしている。また、学科ごとにそれぞれ「3つのポリシー」を設定し、同様に学生便覧に記載している。ディプロマ・ポリシーの中に具体的な育成人材像が設定されており、ホームページ、学生便覧などで周知を図っている。	4	特になし	特になし
2	育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合しているか。	企業と連携した授業を積極的に展開し、学生が直接業界ニーズを感じることができている。 令和6年度は「職業実践専門課程」の認定を受けるために整備業界関係者を含めたカリキュラム編成委員会の開催を行う予定があり、育成人材像は専門分野に関連する業界ニーズに適合するように準備している。	4	特になし	特になし
3	社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか。	中期構想として第10次中期経営計画（2022～2024年度）を策定し計画を推進している。令和6年度生より自動車システム工学科の定員を25名から40名に増員するなど、社会情勢を見越した対応を行っている。	3	新設校であるため、完成年度までは運営基盤を固める方針だが、将来に渡り安定した学校運営を行うには5～10年先を見据えた中長期経営計画の策定も必要と考える。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後も教育理念に沿って教育目標を定め、また、企業や社会のニーズを取り込みながら育成人材像を創出し学校運営を継続していきます。

2 学校運営

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念等を達成するための運営方針と事業計画を定めているか。	第10次中期経営計画（2022～2024）を策定し、毎年度の事業計画及び予算計画に基づき運営を行っている。 ホームページには、「資金収支計算書」、「事業活動収支計算書」、「貸借対照表」、「事業報告書」、「財産目録」等が公開され、運営状況も明確にして運営方針・事業計画を明らかにしている。	3	第10次中期経営計画では、新設校である当校の経営計画は細部まで詰めた内容ではなかった。そのため年度毎の事業計画は実情に修正しながら策定したい。	学校ホームページの見せ方として、学校情報を独立させたページを用意すると見やすく良いのではないか。
2	設置法人は組織運営を適切に行っているか。	毎年度、学校法人から組織図及び目標と方針が示され、それに従い学校運営を行っている。 各所属の組織は所属長が幹部職員の意見を参考に立案しており、適材適所による運営が行われている。	4	特になし	特になし
3	人事・給与に関する制度を整備しているか。	服務規程により人事、給与については整備されている。 人事評価は本人に開示し、上司と本人との面談を通じてその取り組みの良否を伝え助言指導を行い、本人の成長を促している。 また、教員の授業スキルを向上させる目的で、学生による授業アンケートを集計し担当教員に提示する取り組みも行っている。	3	給与規程に関しては、運用面で課題があると感じているが、すべて法人本部に委ねられているため、積極的に働きかけを行っていきたい。	授業アンケートなど学生が意見表明できる仕組みがあることは良いことである。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

学校運営は中期経営計画に沿って、年度毎の目標及び活動計画を決定し計画的に実行しつつも、社会情勢等の変化を注視し早期に対応すべきものには速やかに対応していきます。

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか。	教育理念に沿って、育成人材の目標別（科別）に教育課程の編成をしており、その実施に当たっては、教育課程表を作成して授業カリキュラムを展開している。	4	特になし	特になし
2	教育目的、目標に沿った教育課程を編成しているか。	目標達成に向かってカリキュラムを作成している。また、業界の目標にも配慮して格差が生じないように留意している。令和6年度は教育課程編成委員会の外部委員の意見を参考に改善を図る予定である。	4	特になし	特になし
3	成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか。	成績評価や単位認定、進級・卒業判定の基準は明確に定められている。また、学生には学生便覧に明記して周知徹底をしている。	4	特になし	特になし
4	目標とする資格・免許は教育課程上で明確に位置付けているか。	自動車整備士の第一種養成施設の指定基準に則り教育課程を編成し、一級又は二級自動車整備士資格を取得するに必要な教育内容を設定している。	4	特になし	特になし
5	資格・要件を備えた教員を確保しているか。	国土交通省の定める教員の員数や能力は十分確保している。さらには、専門分野を担当する常勤教員は全員が一級自動車整備士の資格を有している。	2	全教員の内、半数が令和5年度入職者で自動車整備の経験はあるものの教員としての経験が不足している。	静岡工科と連携し、教員のレベルアップを図る研修などに取り組むこと、教員の社会経験を学生へ伝えること及びコンプライアンスを重視することをお願いします。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

浜松工科は新設校ですが、静岡工科での経験が十分に活かされており教育活動は順調です。

令和6年度は新人の教員が多いのですが、ベテラン教員が支援しながら早期に独り立ちできるよう取り組んで参ります。

4 学修成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	就職率の向上が図られているか。	地元企業との連携を密にして学生の就職指導を行っている。企業と連携して企業奨学制度を運用し、早期に企業と学生の結びつきを深めている。令和6年3月末時点で、令和5年度自動車整備科学生22名の内、進学者4名を除く18名が就職活動を行い、17名が第一希望の企業から採用内定をいただいた。	4	特になし	特になし
2	資格・免許取得率の向上が図られているか。	令和6年度はソーシャル検定中級（A,E科のみ）、研削砥石特別教育、アーク溶接特別教育、タイヤ空気充填特別教育、ガス溶接技能講習に全員が挑戦した。ソーシャル検定で1名不合格となったが以外の資格は全員が取得した。危険物乙種4類は希望者のみの受験であったが合格率は53.3%であった。	3	危険物や日本語能力検定は対策授業のシステム化を図りたい。	乙4についてはもう少し合格率向上を目指してほしい。 4類以外の斡旋もお願いしたい。 パソコン取り扱いの技能やインターネット及びセキュリティについての知識も身に付けてほしい。
3	卒業生の社会的評価を把握しているか。	本校では、まだ卒業生がいないため評価できないが、静岡工科卒業生については、職場において技能コンクールなどで活躍し、全国大会で優秀な成績を収めていることなど、卒業生の情報収集を行うため、就職企業と密な関係を保っている。	3	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

令和6年度は初の卒業生を出す年です。自動車整備科の最大目標資格である二級自動車整備士はガソリン、ジーゼルともに全員が2種目合格できるよう全力で支援します。

5 学生支援

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか。	無料職業紹介所の届け出を行い、多数の求人獲得に努力している。 静岡工科と共同で企業ガイダンスを実施し、CareerMapの運用により家庭でも企業研究、企業比較ができる体制を整備している。また学生に対しては、職業指導の基本方針を明示し、担任による就職意識の向上、書類作成指導、面接指導を行っている。	4	特になし	特になし
2	退学率の低減が図られているか。	年度初めに、最大退学人数の目標値を定め、これを越えないように学生状況を把握し、職員会議等により職員の退学率低減意識を高め、組織的に退学者の減少に務めている。 進路について不安のある学生の早期発見、早期対応に努め、その気兆候が見られた場合には、担任が中心となり、学生との面談や父母等との面談を繰り返し退学を防止している。	3	令和5年度は学習意欲喪失による進路変更者が数名あったが、いずれも目標意識が希薄な学生であった。目的・目標を持たせる指導を検討する。	退学防止について企業側で協力できることがあれば利用してほしい。
3	学生相談に対する体制を整備しているか。	学生からの相談は、主にクラス担任が対応し、更に教務課長がカバーしている。また、ハラスメントに関する相談担当者も専任化されており、保健室、面談室なども用意している。授業料等納付金に関しては総務課が、就職活動については担任又は就職指導担当者が窓口になっている。	4	特になし	特になし
4	学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか。	本校独自の企業奨学・推薦制度、特待生選抜制度、日本学生支援機構の奨学金制度、入学生下宿サポート制度、指定校推薦生の入学金の一部減免等、学生の経済的側面に対する支援が全体的に整備され、有効に機能している。 また、学納金も4回に分ける分納も支援になっている。 その他、高等教育の修学支援機関としても認定されている。	4	特になし	特になし

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
5	父母等との連携体制を構築しているか。	父母等を正会員とする後援会組織があり、年1回実施される後援会総会後に各クラスでクラス担任と保護者との懇談会や個別相談会を実施している。1学期には保護者授業参観会、2学期には個別進路相談会を実施し、また必要に応じて電話連絡により学生の状況を父母等に連絡報告し、学生状況に関する相互理解に努めている。	4	特になし	特になし
6	卒業生への支援体制を構築しているか。	まだ卒業生がいないため評価はできないが、静岡工科に倣い、①企業担当者からの聞き取り、②インターンシップの訪問時の確認、③サービス技術コンクールでの活躍確認を行うことを予定している。特に整備士資格未取得者があった場合には就職先企業とも連携し、資格取得のフォローを行う予定がある。また、定期的に同窓会役員会を実施して、卒業後、数年経った離職者情報等を把握し、就職支援を行う予定である。	3	卒業生を輩出しないことには課題がわからない。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

就職活動に関しては売り手市場ということもあって順調に採用内定を得ることが予想されますが、「各企業様への人材提供」の側面を考えるとなるべく多数の企業様に学生を紹介できるように努めるとともに、紹介できなかった企業様とのパイプを切らさないような努力も続けていきます。父母等への支援については他の専門学校に比べ参観会や個別相談会などの行事を用意し積極的に行っていると考えます。

6 教育環境

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか。	自動車整備士養成施設の指定等の基準により、1.教室や実習場における生徒一人当たりの面積、2.実習で使用する教材、作業用機器、計測機器、検査用機器、3.使用される教科書等について明確に規定されており、これら第一種養成施設の指定基準を満たし有効に活用している。 教育用機器、機材に関しては中期経営計画に沿って年度ごとに計画的に購入していくと共に、自動車の新技術に対応するための機器・教材等の導入等、教育環境の充実に努めている。	3	教材及び機器の不足が一部あるので、今後整えていきたい。	診断器『コンサルト』を用いた授業あるいは教員対象の研修会の開催など協力可能です。
2	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか。	1年生に対してはそれぞれの学科について、企業が行う実習（校内）を2社ずつ実施した。 インターンシップについては令和6年度から実施する予定がある。	4	特になし	特になし
3	防災に関する組織体制を整備し、適切に運用しているか。	災害等対策対応マニュアルを備え、教職員への地震災害時の連絡体制については Google のクラスルーム及び LINE で安否確認を行うことが示されている。緊急時の連絡体制は学生にも周知され、ホームページで緊急時の対応策が確認できる体制がある。 災害時の備蓄品を整備し、学生数の2日分の食料等が備蓄されている。 防災訓練（避難訓練）も年2回火災、地震と目的に応じ実施している。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

新設校であり教材、機器の整備に不十分な点があります。令和6年度は2年生科目の教材及び機器の整備に尽力します。

7 学生募集

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学生募集を適切かつ効果的に行っているか。	学生募集活動に関しては校内ガイダンス、会場ガイダンスへの参加、模擬授業の実施、本校での体験実習及び公開授業など積極的に取り組んでいる。特に電動化、自動化の流れから1級課程に注力した募集活動を展開している。SNSを活用した広報活動も展開し、積極的に学校情報を発信している。その結果、令和6年度入学予定者は82名となり、前年度より18名増加した。	3	自動車に興味がある若者が減少している状況の中、如何にして入学定員を確保するかが課題である。反応者へのアプローチ方法も含め、出願決定率を高める施策を検討し、実践していきたい。	企業として学生募集に協力させていただきたい。若い人に車に興味を持ってもらう機会を提供したい。
2	入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか。	入学選考基準を募集要項で明確化し、適正に運用している。また、本校ホームページに各学科のディプロマポリシーからアドミッションポリシーを明記しており、受験生に対してミスマッチが起きないように配慮している。	4	特になし	特になし
3	経費内容に対応し、学納金を算定しているか。	各学科の学納金は、静岡工科に準じて設定されている。JAMCA校（特に中部・関東エリア）の学納金、競合他校の学納金を参考として、経常経費依存率、人件費依存率等の諸比率を総合的に勘案し設定している。また、学生負担の軽減に対して様々な取り組みを行っている。	3	教材費は物価高騰により上昇している。購入教材を再検討し、学生の費用負担の軽減に努めたい。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後も継続的に応募につながる募集活動内容を検討します。

8 財務

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか。	事業活動収支においては、開校1年目の新設校であるため2年目までの収支はマイナスであるが、3年目以降はプラスに転じる予定である。開校2年目の令和6年度は期首在籍数140名の予定であり、収支も改善する見込みである。在籍数は計画通り増えており、財務基盤は安定する見込みである。	3	人件費の増加や、減価償却費が計画より大幅に増加したことにより、教育活動経費を圧迫する状況となっている。経費節減に努め、安定した財務基盤を築くよう努めたい。	特になし
2	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか。	中期経営計画（2022～2024年度）を策定する中で、教育目標を踏まえた事業計画（活動、予算）を策定している。開校1年目であるため計画外の費用が生じることが度々あった。	3	開校1年目であり、計画外の支出が度々あった。次年度は当年度の実績を踏まえた予算とし、予算と実績と整合性を図った。	特になし
3	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を行っているか。	監査法人により、「当年度事務処理状況調査、及び財務諸表各項目」について厳正に監査を行っている。財務運用の業務そのものについても、法人本部による内部監査で問題がないか確認している。	4	特になし	特になし
4	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか。	当校は新設校のため、その母体である静岡工科の当年度財務諸表一式、及び、その前3か年の主要財務数値を、HP上に公開し、第三者からその財務状況が十分確認できる状態に維持している。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

開校2年目であり収支はマイナスであるが、予定どおり3年目にはプラスに転じるよう堅実な経営に努めます。

9 法令順守

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか。	令和5年に専修学校設置基準に則り、専修学校専門課程の設置認可を受け、また、第一種自動車整備士養成施設の指定も受け、その基準の中で運用を続けている。	4	特になし	特になし
2	職業実践専門課程の認定要件を満たし、適正な教育運営を行っているか。	職業実践専門課程の認定申請は卒業生を出した翌年度からと定められているため、自動車整備科はR7年度、国際オートメカニクはR8年度、自動車システム工学科はR9年度に申請予定であり、そのための準備を進めている。	3	令和6年度は初めて2年次の教育を行うため、未知の部分があり、都度対応を検討する。	特になし
3	学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか。	個人情報保護規程を策定し、内外に公表するとともに、校内で徹底している。 年に1回、法人本部の内部監査で、規程に沿って、個人情報が扱われているかどうかを確認している。	4	特になし	特になし
4	自己点検評価、学校関係者評価を適切に行っているか。	自己点検評価は令和5年度分を取りまとめている。学校関係者評価は令和6年度から実施予定である。	3	現時点では学校関係者評価は未実施であり適切か判定ができない。	特になし
5		科目等の概要についてシラバスに記載し本校ホームページで公開している。	3	現時点で令和5年度の教育実績は公開していない。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

自己点検及び学校関係者評価委員会を開催し情報公開することで、法令を順守していると認めていただきました。今後も継続していきます。

10 社会貢献・地域貢献

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	学校の教育資源を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。	高校生の職場体験実習の受け入れ、自動車整備振興会主催のエンジョイ・カードクターIN ソラモへの出展、静岡カーフェスティバル2023の協力等広く自動車業界、整備業界の一般へのPR活動に参加している。 また、県自動車整備振興会への講師派遣も行っている。	3	令和5年度は教員スタッフが少なく、社会貢献等にスタッフを割くことができなかったが、令和6年度は人員に余裕ができ、多方面への働きかけができる。	特になし
2	学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか。	自動車整備振興会主催エンジョイ・カードクターIN ソラモにおいて指定工場ブースへのボランティア参加を支援した。	3	特になし	ボランティア活動にも積極的に取り組んでほしい。工科の教員の皆さんの前職での経験を伝えることや外部の方の「人を作ること」に資する講話なども取り入れていただきたい。

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

学校の教育内容として、技術、技能の習得ばかりではなく人間性の育成についても父母等は望んでいますので、今後はそうした分野の取り組みも実践したいと考えます。

1.1 国際交流

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	留学生の受け入れ	留学生の受け入れについては、二級整備士資格を3年間で無理なく取得できるカリキュラムを有した「国際オートメカニク科」を設置し、令和5年度在籍16名であり、全員が整備士資格を取得し、国内に就職することを目指している。	3	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

自動車整備科の日本人入学者数が定員より少ない場合、優秀な留学生は自動車整備科に入学していただくなどの対応をすることで一人でも多くの留学生を確保します。

職業実践専門課程認定要件適合評価

1.2 職業実践専門課程の認定要件

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教育課程編成委員会の委員構成、開催回数、教育課程の編成内容	教育課程の編成・実施の方針については学校として、また各科ごとに「カリキュラムポリシー」が文章化されており、学校の卒業認定に関する方針「ディプロマポリシー」に掲げる能力を身に付けるための具体的な項目が定められている。 教育課程の編成における企業等との連携については「浜松工科大学校カリキュラム編成委員会」を組織し、静岡県整備振興会より1名、就職関連企業から1名の参加により、合計2名の外部委員と学内委員との構成によりカリキュラム検討を年二回実施する予定である。また、議事録はホームページでも公開予定である。	3	特になし	特になし
2	企業等と連携した実習・演習等の実施	1 学年については、定期点検実習科目で外部ディーラーの方に授業指導を行っていただいている。また 2 学年については、大型車両実習科目で外部ディーラーの方に授業指導を行っていただく予定である。それらの科目については、企業の方に試験問題を作成いただき外部評価を受けるかたちをとっている。	4	特になし	特になし
3	企業等と連携した組織的な教員研修の実施	教員のFD活動については、教育力の向上を目的に積極的に外部の講習に参加している。 ・自動車整備振興会主催の新技术研修に対しては、教職員全員が参加し先進技術の修得に努めている。	4	特になし	特になし

		<ul style="list-style-type: none"> 自動車ディーラー企業の協力により市販車の最新技術の講習受講を行い、令和5年度は静岡トヨタ自動車(株)様及び日産プリンス静岡(株)様の技術講習に参加。 			
4	学校関係者評価の実施・公表	<p>学校関係者評価委員会のメンバーとしては業界関係者として自動車整備振興会、就職関連企業、父母等、それぞれの代表で合計3名での運営を予定している。年1回開催し、学校関係者との理解促進や連携協力を図るとともに、自己点検自己評価報告に対する助言・意見などの結果を教育活動および学校運営の改善に活用する予定である。また、学校関係者の確認を得た自己点検評価報告書はホームページ上で公開予定である。</p>	3	特になし	特になし
5	ホームページにおける情報提供	<p>自己点検評価および学校関係者評価委員会議事録等はHPに定期的に公開する予定である。</p> <p>職業実践専門課程の報告様式である様式4についてもHPにて公開、更新を行う予定である。</p>	3	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

職業実践専門課程の認定に必要な条件はすべて実行し満たしていると考えます。今後、令和7年度：自動車整備科、令和8年度：国際オートメカニク科、令和9年度：自動車システム工学科の順で職業実践専門課程の認定を申請します。

国土交通省自動車整備士一種養成施設指定基準に基づく評価(分野別評価・機関評価に相当)

1 教育理念・目的・育成人材像

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法第1条に基づき自動車整備士の養成を目的としているか。	<p>道路運送車両法の目的である自動車整備技術の向上、コミュニケーション能力を備えた人材の育成を通して、社会の要望に添える整備士の養成をしている。</p> <p>目的の達成のため、国が定めた自動車整備士養成等の指定基準に適合した施設・教育者等を整備し、新技術に対応した教育等の実施、コミュニケーション能力、情勢を的確に分析しその変化に柔軟に対応できる能力及び国際性を持ち合わせた人材の育成により、社会のニーズを達成できる整備士の養成に努めている。</p> <p>また、当校は特定整備事業の認証を取得しており、実践的な作業を経験できる環境となっている。</p>	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

今後も、自動車整備士の育成を主目標として教育活動を行っていきます。

2 学校運営

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法 部長 業務取扱通 達別表「添付書 類一覧」添付書 類 1. 2. に基 づき運営され、 国交省の定期調 査によって承認 されているか。	令和5年に自動車整備士養成施設の指定を受け、申請書等に記 載されている整備士養成に係る課程の種類、修業年限、教育時 間単位、教育を実施する施設・設備、当該課程修了及び成績判 定基準等について基準に即して運用している。 また、ディプロマポリシーの制定により、自動車整備士資格を 取得し社会で活躍するための卒業要件を明示し、その教育に対 する評価のシステムも充実させ、その到達レベルを保証してい る。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5年度及び令和6年度の年度初めには『変更届』を提出し、更には令和6年度初めに「令和5年度の実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法 部長 業務取扱通 達別表「添付書 類一覧」添付書 類6. 7. に基 づく教育内容で 運営され、国交 省の定期調査に よって承認され ているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指 定を受けた。令和5年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし
2	部長 基準取扱通 達 別表「添付 書類一覧」添付 書類 7. の基 準に基づく教育 内容で教育計画 表(二級課程及び 一級課程)を作成 し、それよって 運営され国交省 の定期調査によ って承認されて いるか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指 定を受けた。令和5年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
3	部長 業務通達第4 養成施設の報告の基準に基づき教育実績が年度毎報告され、国交省の定期調査によって承認を受けているか。	令和5年度の実績は令和6年4月に中部運輸局へ報告する予定である。	4	特になし	特になし
4	部長 業務取扱通達 別表「添付書類一覧」添付書類4. 5に基づく教育の資格および配置により運営し、国交省の定期調査によって承認されているか。	令和5年に第一種自動車整備士一種養成施設指定申請を行い指定を受けた。また、令和5年度中に新採用教員4名が加わったため、令和6年度当初に変更届を行う。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5年度及び令和6年度の年度初めには『変更届』を提出し、更には令和6年度初めに「令和5年度の実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。

4 学習成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	部長 業務通達 第4 養成施設の 報告の基準に基 づき資格合格率 等が年度毎報告 され、国交省の 定期調査によっ て承認を受けて いるか。	令和5年度分の実績を令和6年4月に報告するよう準備をして いる。国交省による定期調査はまだ行われていない。	3		特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5年度及び令和6年度の年度初めには『変更届』を提出し、更には令和6年度初めに「令和5年度の実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。

6 教育環境

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	局長通達 教場、必要設備等一覧表の基準に基づき配置され、国交省の定期調査によって承認を受けているか。	令和5年に第一種自動車整備士養成施設の指定申請を行い、教場、必要設備等一覧表の基準に基づき配置されていることが確認されている。	4	令和7年度に二級自動車整備士新課程の届出を予定している。	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5年度及び令和6年度の年度初めには『変更届』を提出し、更には令和6年度初めに「令和5年度の実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。

9 法令の順守

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	道路運送車両法の一様養成施設設置基準に基づく学校運営を行っているか。	令和5年に第一種自動車整備士一様養成施設指定申請を行い指定を受けた。令和5年度はその内容に従い教育活動を行った。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

国交省の定期調査はまだ受けていませんが、令和5年度に自動車整備士養成施設の指定を受けた際の審査で問題ないことが証明され、また、令和5年度及び令和6年度の年度初めには『変更届』を提出し、更には令和6年度初めに「令和5年度の実績報告」も実施し、すべて問題はありませんでした。

自動車整備士分野の教育の質保証・特徴化に向けた取り組み内容の評価(分野別評価に相当)

3 教育活動

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	教員の専門性向上、教育力向上に向けた特徴ある取り組みや成果	学園として「エコアクション21」の認証を取得し、学科授業として教育する以外に、学生生活の中でごみの分別やオイルの処理を実践させることを通して環境問題への認識を深めるよう工夫している。 FD 推進の分掌を準備し、教育の DX 化、研修制度の充実について検討を重ね、その実現を図っている。	3	特になし	特になし
2	教育の質保証、質向上に向けた教育内容やシステムにおける特徴ある取り組みや成果	「工科技能検定の実施」 実習科目において修得した技能を科目の履修判定試験の他に総合的に評価する独自の技能検定を学生全員を対象に実施し評価している。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

エコアクション21の活動は令和5年度にエネルギー及び廃棄物のデータを取り、令和6年度から目標を定め削減計画を進めていきます。

4 学修成果

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	国家資格の合格に向けた特徴ある取り組みや成果	一級自動車整備士問題の解説動画を作成し、学生がどこにいても視聴できる環境を整えた。	3	年度更新の必要がある。	特になし
2	就職率、就職の質向上に向けた特徴ある取り組みや成果	企業と連携し、企業奨学生制度を導入する中で、奨学生が早期から複数回、企業と接触する機会を作り、企業を中身をよく知った上で採用試験を受験している。こうしたことがミスマッチを防ぐことにつながっている。	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

一級動画の作成は本校単独では負荷が大きいため静岡工科と協力しながら年度更新を進めていきます。

○ 全般

NO.	評価項目	実施内容等	自己評価	改善案	評価委員会の意見
1	<p>その他学校としての特筆すべき特徴ある取り組みや成果</p>	<p>「常勤教員はすべて1級整備士」 教員の採用に際し1級取得を必須としており、優秀な教員の獲得に努めている。</p> <p>「企業奨学生制度 協力企業130社以上」 学費負担軽減及び早期に就職先が決定する企業奨学生制度を推進しており、入学生の獲得に効果を発揮している。</p> <p>「3つのポリシー制定」 学校並びに学科ごとにそれぞれ「3つのポリシー」を設定している。ディプロマ・ポリシーの中に具体的な育成人材像が設定されており、ホームページ、学生便覧、教室での掲示などで周知を図っている。</p> <p>その他カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシーの公表により、学校運営や教育内容について個々の項目ごとにポリシーに準拠している科の認識が高まり、高い教育の質を実現するための指針となっている。</p>	4	特になし	特になし

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

今後に向けての学校の考え

上表に記載されたもの以外で取り組むべきことあるいは取り組んだ方が良いことがあれば、積極的に取り入れて参ります。